

市長コラム

夢かなうまち  
おびひろ

人と木と森と

帯広市長 米沢 則寿



以前このコラムで、私の好きな絵本「木を植えた男」を紹介したことがあります。木は、日差しが強い日には日陰をつくり、風の強い日には風よけとなり、燃やせば暖にもなります。木が大きく成長するまでには長い年月が必要で、その恩恵を享受できるのは次の世代かもしれないですが、男は一生をかけて荒れ地に木を植え続け、緑の森としてよみがえらせる物語です。見返りを求めず、未来を信じて行動し続けることの崇高さに感動したものです。

13年前に市長を志し、改めて帯広市のことを調べた時に、真っ先に私の目に飛び込んできたのは「帯広の森構想」でした。農地として開拓した土地に、街を囲むように木を植え、再び森をつくるというプロジェクトで、市民がみんな木を植えたとき、あんなに絵本と重なり感銘を受けたことを

思い出します。歴史的に見ても帯広は木や森との関わりが深く、かつて日本最大級の林業集落と言われた三国峠手前の三俣盆地から切り出された木材は、川に浮かべて運ぶ流送や森林鉄道を経て帯広に集積され、鉄道の枕木や建造物に使用されるなど、開拓時代の人々の暮らしや街の成長を支えてきました。

木は人々の生活に欠かせないものですが、実は自然のまま放っておいても元気に育つものではありません。伸びきった枝や葉は、太陽の光を遮り木々の成長を妨げます。枝払いや間伐を行うなど、人の手を入れることで光が差し込み、長い年月をかけながら、生き生きとした木が育ち、鳥や昆虫も集まる多様性のある森へと成長していきます。人も木も互いに互いを必要としており、私たちも木や森のことを理解し、より良い関係性を築いていくことが持続可能な未来につながるものと考えます。

帯広市では、子どもの頃から木と身近にふれあい、木や森との関わりを考えながら豊かな心を育てるため、木育を推進しています。昨年からは児童会館や保育所に、地域材を利用した木製遊具などの設置を進めているところ。多くの子どもたちが木製遊具に触れ、遊ぶ楽しさだけでなく、木が持つ温もりや優しさを直接自分の手で感じて、成長してくれるものと期待しています。

帯広の森のプロジェクトは、来年50周年を迎えます。木を植えた人たちが、私たちに残してくれた森を散策しながら、木や森との関係に思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。



今月はコンゴウインコ

アカコンゴウインコのパセリは、1999年に釧路市動物園で生まれ、翌年3月に来園しました。

コンゴウインコの仲間は、カラフルで鮮やかな羽が特徴です。くちばしの力はとても強く、硬い木の実を簡単に割ることができます。2022年4月には、寄附としてベニコンゴウインコ2羽が仲間入りし、現在、外に展示できるようトレーニング中です。温かく見守ってください。



暖かい日は外の止まり木で展示しています。



コンゴウインコ担当 牧野さん



おびひろ動物園の動物たちの写真を大募集!

動物園長と広報担当で厳選し、魅力的な写真を当コーナーで紹介いたします。次回(1月号)の紹介予定の動物は「エゾシカ」です!

- Instagramの場合…「#広報おびひろZOOレター」を画像に付けてアップ
- Eメールの場合…photo@city.obihiro.hokkaido.jpに画像(5MB以内)を添付して送付

※提供された写真は、次回のZOOレターで紹介したり市の広報物などに使用する場合があります。その場合、個別にお知らせはしません。写真に関する問い合わせは、広報広聴課へ。



市政のお知らせを放送しています

- ◆テレビ 市役所だより(OCTV 11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧いただけます。
- ◆ラジオ(毎週月・水・金曜日) おびひろタウンインフォメーション(FM-JAGA77.8MHz) 9:15~9:20 おびひろ広報メモ(FM-WING76.1MHz) 9:30~9:35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。

広報掲載記事に関連するWEBページを簡単に探せます

広報記事内に記載されている7桁の数字(ページID)を、市ホームページの「広報ページID検索」欄に入力するだけで該当WEBページのより詳細な情報が確認できます。ぜひご活用ください。

市ホームページID: 1000038

問い合わせ 広報広聴課(市庁舎3階、☎65・4109、FAX 23・0156、Eメール report@city.obihiro.hokkaido.jp)